

0060 | 歴史学

2 単位（通信授業 2 単位）

廖赤陽教授、金田真滋講師

授業の概要と目標

私たちが社会生活を送る上で、過去の歴史を学び、理解することは大切なことです。この科目では、特に現代の日本で生活する皆さんに是非とも知っていて欲しい、日本やその近隣の地域を含めた東アジアの近代・現代の歴史を学習します。教科書や学習指導書、参考文献などを読んで基礎的な知識を身につけた上で、出題するレポートを自分の手でまとめることで、私たちの社会がどのような歴史を歩んできて、どのようにして現代の社会が作られてきたのかを学習してください。それにより現在の身の回りのできごとや状況への理解も深まるはずですよ。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の各章から、自分が関心を持った章の一つを選び、その内容をまとめよ。

○通信授業課題 2

自分と関係がある地域（現住所や出身地の都道府県・市町村区）の歴史をまとめよ。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『東アジア近現代史（新版）』

第 1 章「東アジアと近代」

第 2 章「第一次世界大戦期と東アジア」

第 3 章「第二次世界大戦と東アジア」

第 4 章「冷戦体制の確立と『独立と革命』」

第 5 章「戦後体制＝冷戦構造の再編成」

第 6 章「世界秩序の再編成と東アジア」

第 7 章「世紀転換期東アジア史の展開」

第 8 章「世紀転換期中国経済社会の史的展開」

第 9 章「21 世紀東アジアの史的展開」

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：上原一慶、桐山昇、高橋孝助、林哲『東アジア近現代史（新版）』（有斐閣 2015 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）